

横浜市福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書  
パレット保育園・大和

平成29年3月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

## 目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	7
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	12
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	13
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	14
評価領域Ⅵ 経営管理.....	15
利用者家族アンケート分析.....	16
利用者本人調査.....	20
事業者コメント.....	22

## ◆ 実施概要 ◆

事業所名	パレット保育園 大和
報告書作成日	平成29年3月16日 (評価に要した期間4ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

### \*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年10月25日～12月27日】 <ul style="list-style-type: none"><li>・園内会議で趣旨を説明し、常勤、非常勤、すべての職員が勤務時間内に記入した。</li><li>・個々が記入した自己評価を基に、施設長、副施設長が1項目ずつ確認し、協議し一つにまとめた。</li></ul>
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年11月14日～11月28日】 配 付：全園児の保護者（59家族）に対して、園から手渡しした。 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成29年2月6日、2月14日】 <b>■第1日目</b> 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（施設長） <b>■第2日目</b> 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査（副施設長・保育士・非常勤保育士・調理職員） 事業者面接調査（施設長）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成29年2月6日、2月14日】 <ul style="list-style-type: none"><li>・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。</li><li>・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。</li></ul>

## ◆ 評価結果についての講評 ◆

### 【施設の概要】

パレット保育園大和は、小田急江ノ島線・相鉄本線「大和駅」から歩いて2分ほどの所にあります。駅に近いということもあり、ビルや商店街、マンションなどが混在する場所に位置しています。周辺は公園の多い地域で、さまざまな公園が徒歩圏内にあります。足を延ばすと「ふれあいの森」や「泉の森」があり、四季折々の自然を感じることができる環境になっています。

園舎は、ビルの1、2、3階を使用し、定員は60人（生後4ヶ月過ぎ～就学前までの乳幼児）、開園時間は平日7時から21時、土曜日は7時から18時です（平成28年度現在）。

パレット保育園大和は、平成7年に駅型保育事業「どんちゃかランド」として、株式会社理究によって設立され、平成17年4月1日に神奈川県認可保育所となりました。

株式会社理究は、神奈川県認可保育所、横浜市認可保育所、川崎市認可保育所、東京都認証保育所を運営しています。「全脳教育理論」に基づく「どんちゃか幼児教育」により、「感性を磨き、知性を育み、体力を養う三位一体のバランスのとれた保育」を実践し、人間としての土台を築く指導を目指しています。

法人の保育理念として「ひとりひとりに生きる力を！」を掲げています。法人の保育方針は、『保育所保育指針』に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、『健康』・『人間関係』・『環境』・『言葉』・『表現』の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます」としています。園独自の保育の目標として『私たちは自分の気持ちをのびのび表現し、友だちに優しくできる子』に育つように保育を実践します」を掲げています。

### 1. 高く評価できる点

#### **●子どもの自由な遊びを重視した保育と、一定のプログラムに沿って実施される保育を組み合わせた活動をおこない、子どもの成長や発達、集中力を培っています**

園では、保育理念「ひとりひとりに生きる力を！」に基づき、「感性を磨き、知性を育み、体力を養う三位一体のバランスのとれた保育」を目指しています。日常の活動のなかでは、散歩などの外遊びを中心に、子どもの自由な遊びを重視した保育をおこなっています。園の周囲には、大中小さまざまな公園が30箇所程度あります。公園が多いという利点を十分活かして、0歳児クラスから積極的に散歩に行っています。年齢や発達の状況、日案のねらいに合わせて、森林の中で昆虫を見つけることができる自然豊かな公園や木登りができる公園、砂場やブランコ、うんてい、ローラーすべり台、砂場のある公園などを選んでいきます。子どもたちは、木登りやうんていにチャレンジしたり、しゃぼん玉を追いかけたり、探検ごっこをして自由に遊んでいます。異年齢のクラスが合同で散歩に行く機会も多くあり、乳児クラスの子どもたちも、幼児クラスと合同で遠方の公園まで足を伸ばしています。保育室では、玩具や絵本などを子どもたちが自由に取り出して、散歩で見つけた昆虫や花を図鑑で調べたり、スカーフをマントのようにして遊んだり、さまざまなブロックを使って遊んだり、子ども用の将棋をしたりして、子ども同士かかわりながら遊んでいます。

一定のプログラムに沿った保育として、週1回の「パレット学習タイム」や「運動プログラム」を実施しています。パレット学習タイムは、「感性・知性」を培う保育として、毎週、クラスごとに異なる絵本を題材におこなっています。スクリーンを用いたダイナミックな絵本の読み聞かせを専門講師がおこない、絵本に関連したワークや制作をするなどして子どもの感性や知性を刺激しています。0歳児クラスの子どもも集中して取り組むことができます。5歳児クラスでは、就学を意識した形式で実施しています。「体力」を培う

保育として、運動遊具をつかった運動プログラム（はしる、なげる、とぶ、全身運動、プール）を計画し、週1回実施しています。幼児クラスでは体力測定を年1～2回おこなって成果を検証しています。子どもの自由な遊びを重視した保育と、一定のプログラムに沿って実施される保育を組み合わせることで、メリハリのある保育活動をおこない、子どもの成長や発達、集中力を培っています。

### **●保育の計画に基づいた記録を細やかにおこない、より良い保育の実践につなげています**

保育課程に基づき、クラスごとに年間指導計画や月間指導計画、週案、日案を作成しています。これら全ての計画において、保育のねらいや配慮する点について明確にし、それに沿った振り返りや評価をおこなっています。日誌にその日の活動とねらい、子どもの様子、反省を記入し、1週間ごとに保育活動を評価して次週に活かしています。1週間ごとの評価は、月間指導計画における「養護」と「教育5領域」の評価につなげています。年間指導計画の評価は4つの期に分けて実施し、月間指導計画の評価をもとに各期の達成度合いや課題を明確にして、次期の保育の実践に活かしています。

子ども一人一人に関する記録の一つとしてチェックリスト方式の「成長発達記録」を作成しています。発達段階にあわせて11種類のチェックリストを用い、項目ごとに「できた日」を記入し、発達を意識した個別の援助に活かしています。配慮が必要な児童には「個別支援計画及び発達経過記録」を作成し、年間目標や期の目標、月のねらいを明確にして、「養護」と「教育5領域」に対する保育内容や配慮事項、集団への参加、保護者の意向、関係機関との連携について、月ごとに記録し評価をおこなっています。

クラスごとの計画や個別の計画に基づき、細かく記録をとり、より良い保育の実践につなげています。

## **2. 独自に取り組んでいる点**

### **●保育環境について職員間で話し合い、保育場面に応じた保育環境の設定をおこなっています**

園独自の「大和保育目標」の実践に向けて、「保育環境の設定」に力をいれて取り組んでいます。朝夕の合同保育や、各クラスの室内環境の現状を分析したうえで、「人的環境」「物的環境」「時間的環境」「空間的環境」を整えるために何が必要なのかを職員間で考え、各時間帯の保育室のレイアウト図やコーナー設定図を作成しています。朝夕の合同保育、日中の保育活動、食事、食後の着替えや午睡、午後の遊びなど、活動内容に応じて、カラーボックスやパーティションを随時動かしてレイアウトを変えるクラスもあります。また、活動内容にあわせて他クラスの保育室を借りるなど、子どもの活動に最適な環境を考え、クラス間で連携しながら実行しています。これらの保育環境の設定については、定期的に職員間で話し合い、振り返りをしながら、より良い環境に改善しています。

## **3. 工夫・改善が望まれる点**

### **●地域の子育て支援ニーズを把握し、地域子育て支援に向けた取組が期待されます**

地域の子育て支援として、育児相談ができることを園の玄関等に掲示しています。また、子育て応援フェスタに参加し、手作り玩具の作り方を来場者に教えることなどもしました。


しかし、育児相談はあまり件数がなく、地域に育児相談をおこなっていることを周知する工夫が望まれます。また、駅に近いという立地を活かし、地域の子育て家庭に向けて、離乳食や食育の講座、手歌遊びや絵本、リズムの講座など、育児に関する講座を実施するのも一案です。できるところから検討していき、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます。


# ◆ 分類別評価結果 ◆





3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある


## 評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


<p><b>評価分類 I-1</b> <b>保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p>	<p>評価結果</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の保育理念を「ひとりひとりに生きる力を！」として、「ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、『完成・知性・体力を培う』三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます」などを掲げています。 法人の保育方針は『『保育所保育指針』に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、『健康』・『人間関係』・『環境』・『言葉』・『表現』の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます』を掲げています。 園独自の保育の目標として『『私たちは自分の気持ちをのびのび表現し、友だちに優しくできる子』に育つように保育を実践します』を掲げています。保育理念や保育方針、保育目標はいずれも利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>保育理念に掲げている「感性を磨き、知性を育み、体力を養う三位一体のバランスのとれた保育」の実践として、「パレット学習タイム」の時間を設けて、年齢や発達段階に応じた独自の能力開発プログラムを保育に取り入れています。また、園独自の「大和保育目標」の実践に向けて、「保育環境の設定」に力をいれて取り組んでいます。</li> <li>保育課程は、法人内の施設長会議で決定されます。施設長会議の前には各園の職員から意見を吸い上げています。 入園説明会や進級時の懇談会で、保育理念や保育方針、保育課程に基づいた指導計画、クラスの様子などについて保護者に説明していますが、今後はさらに、保育課程を保護者に配付するなどして説明することが望まれます。</li> <li>保育課程をもとに、各クラスの状況に合わせてクラスの担任が月間指導計画を作成しています。月間指導計画に基づき、週案と日案を作成しています。</li> <li>月間指導計画や週案の自己評価をおこない、子どもの意見や状況に合わせて計画を見直しています。日案の「配慮点」には、子どもが主体的に活動するために保育士がどのような配慮をするのかということ明記し、子どもが自主性や主体性を発揮できるような指導を意識しています。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">  </p>

<b>評価分類 I-2</b> <b>子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>入園に向けて、保護者との個別面接を2月におこない、3月上旬に新入園時説明会、3月下旬に再度、個別面接をおこなっています。入園時には、入会申込書や個人カルテ、健康カルテなどを保護者に記入してもらい、生育歴や家庭での状況、予防接種の状況などを把握しています。</li> <li>入園前の個別面接で、短縮保育について説明をおこなっています。乳児は1週間、幼児は3日間実施することを保護者にお願いしていますが、保護者の意向や子どもの状態に応じて柔軟に対応しています。</li> <li>年間指導計画や月間指導計画、週案、日案を作成しています。各指導計画には、評価や振り返りをする記入欄を設け、子どもの発達状況等に応じて、作成・評価・見直しをしています。年間指導計画は、4期に分けて評価をおこなっています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-3 快適な施設環境の確保</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが快適に過ごせるよう、保育所の屋内・外とも常に清潔に保つため、当番を決めチェック項目を使い清掃をおこない、清掃の実施が記録されています。定期的な換気や温度・湿度の管理、大きな窓から陽光を十分に取り入れるなどの配慮がされています。</li> <li>体を清潔にできる設備として0歳児保育室に沐浴施設、園庭に温水シャワーの設備があります。日々の清掃チェック項目に、沐浴設備等の清掃項目があり、常に清潔を保つようにしています。</li> <li>子どもの発達に応じた環境の確保のため、乳児クラスや幼児クラスでもパーティションを用いて、小集団保育がおこなえるよう、保育室の使い方を工夫しています。食べる・寝るなどの機能別の空間を確保できるよう、食事テーブルの位置と午睡用のマットの位置を分けるようにしています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-4</b> <b>一人一人の子どもに個別に対応する努力</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳、1歳、2歳児について、子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には個別の計画を作成しています。子どもの状況に変化があった場合には、全体会議や昼礼の場で話し合い、目標や計画を柔軟に変更・見直しをしています。</li> <li>保護者とコミュニケーションを密にし、個別の指導計画作成に必要な情報を聞いたり、見直しの必要な場合は事前に伝えています。</li> <li>子ども一人一人の発達の過程に応じた対応し記録に残すため、入園後の子どもの成長や発達について定められた様式に記録しています。入園時には、保護者に児童票、健康記録、保育アンケートに子どもや家庭の個別の状況・要望等を記載してもらっています。子どもたちの記録は、事務室の鍵のかかるロッカーに保管されていて、職員がいつでも確認することができます。</li> <li>保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-5</b> <b>保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。 大和市の巡回訪問支援を年2回程度受ける中で専門家から助言を得て、職員全体で最新の情報を共有しています。</li> <li>• 園内にはエレベーターが設置されていて、バリアフリーの構造となっています。 障害の特性を考慮し、月ごとに個別支援計画を立てて保育をしています。計画には、年間目標や1期ごとの目標、今月のねらい、環境構成を細かく掲載しています。計画の書式内に養護と教育の各領域について記録し、評価も記入できるようになっています。</li> <li>• 虐待が疑わしい場合は、大和市に相談する体制となっています。 子どもへの視診や子どもの言動、保護者の様子など気になることがある場合には、施設長に報告し、声掛けを増やすようにしています。</li> <li>• 食物アレルギーを持つ子どもへの対応は、法人の作成する「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って実施しています。子どもの主治医による診断書に基づき、除去食を提供しています。診断書は半年から1年に1回、保護者に提出を依頼しています。 誤食を防止するために、検食時のチェックと配膳時のチェックを、担任と調理職員、施設長でおこなっています。配膳の際には、専用トレイを用いてラップをかけて提供しています。給食時の座席については、座る位置に配慮するなどしています。</li> <li>• 外国籍など文化の異なる子どもに対して、生活習慣や考え方の違いを尊重できるように配慮することとしています。 意思疎通が困難な場合には、分かりやすい言葉を用いて話したり、お便りにカタカナをふり、伝えたりしています。また、日本語が話せる保護者の関係者を通してコミュニケーションを取るなどしています。</li> </ul>	

<b>評価分類 I-6 苦情解決体制</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入園時に苦情解決制度について保護者に伝えています。園の玄関に「苦情申出窓口の設置について」「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」を掲示し、苦情解決責任者は施設長、苦情受付担当者は副施設長であることを、保護者に伝えています。</li> <li>• 苦情解決窓口「かながわ福祉サービス運営適正化委員会」の連絡先を玄関に掲示しています。また、法人本部のお客様相談室のフリーダイヤルを入園時のしおりに掲載して、相談ができるようにしています。</li> <li>• 要望や苦情は、「パレット保育園大和 意見・要望等の受付書」に記録し、日々の職員会議等で対応策について話し合っています。</li> </ul>	




<p>評価分類Ⅱ－1 保育内容〔遊び〕</p>	<p>評価結果</p>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブロックやままごと、絵本、電車、カードなどのコーナーを作って落ち着いて遊べる環境を作っています。子どもの人数に応じて職員で話し合い、遊びのコーナーを設定しています。絵本は、子どもが取り出しやすい高さの本棚に置かれています。子どもの発達に合わせて、年度の間でおもちゃを入れ替えています。保育観察のときには、知育ブロックで集中して遊んでいる子どもがいました。作りかけのものは、棚などに置いて次の日に取り出して遊べるように配慮しています。0歳児クラスの保育室はサークルで仕切り、つかまり立ちができるようにしています。</li> <li>• 登園後は、3、4、5歳児が同じ保育室で遊んでおり、ままごとや電車、絵本などの遊びのコーナーで自由に遊んでいます。例えば、スカーフをマントに見立てて遊んでいる子どもや、絵本のコーナーで好きな絵本を読んでいる子どももいました。保育士は、一人一人が興味、関心を持って遊べるように援助しています。子どもたちは、友達と遊ぶ楽しさを通して友達との関係作りや遊びのルールを学んでいます。遊びのルールをみんなで決めることもあり、保育士は子どもの意見を聞くように配慮しています。日常の保育は、1歳児と2歳児、3歳児と4歳児は同じ保育室で活動しています。</li> <li>• 地域の方の畑を借りてサツマイモ掘りをしています。園庭では、ミニトマトやミニキャベツ、百日草などを栽培しています。収穫したミニトマトは、ピザのトッピングにしました。ほぼ毎日、散歩を活動に取り入れています。散歩の途中で、地域の方と0歳児が手でタッチをしている様子が観察できました。散歩先の公園では遊具で遊ぶほか、落ち葉やどんぐり拾いで自然に触れる機会を持っています。</li> <li>• 3、4、5歳児はお絵かき帳とハサミや糊などが入っているお道具箱があります。子どもは、お絵かき帳で絵を自由に描いたり、ぬり絵をしたりして遊んでいます。ぬり絵が途中になってしまうときは、翌日に続きができるように配慮しています。完成したぬり絵をテープで絵本のようにして、大切にしている子どももいます。0歳児は、保育士の歌に合わせてタヌキがお腹を叩くような表現をしています。子どもが使えるように、空き箱やペットボトル、ラップの芯、新聞の折り込み広告などを用意しています。また、絵本やお話を題材にしたパレット学習タイムがあり、絵本の中の主人公の気持ちを言葉で表すなどの活動があります。</li> <li>• 合同保育のほか、異年齢で散歩に行くこともあり、日常で関わりを持つことができます。子ども同士の間でけんか等については、子ども同士で解決できるように保育士は見守っています。散歩の途中で靴が脱げたときは、みんなに声をかけてから靴を履いています。履き終わると子ども自身が「お待たせしました」と声をかけており、相手を思いやる気持ちが育まれています。保育理念、保育の方針に掲げている保育者も「大きな家族」の一員として、子どもの手本となるよう行動し、子どもを見守る保育をおこなうように努めています。</li> <li>• 子どもの成長発達の段階に合わせた運動プログラムの体操教室があります。運動プログラムは、「はしる」「なげる」「とぶ」「全身運動」「プール」の項目があり、さまざまな動きや動作、感覚が養うことができるようにしています。体操教室は、子どもがやりたい遊びになるよう、保育者も一緒に楽しみながらおこなうようにしています。また、定期的に神奈川県幼児運動能力テストを参考にした体力測定をおこなっています。散歩に行く際は、首まで紫外線をガードする帽子を被っています。虫よけスプレーや紫外線対策のスプレーは、保護者に確認をしてから使っています。プール遊びのときは、タープで日陰をつくるよう配慮しています。体調が良くないときには、屋外活動には参加せず保育室で過ごせるよう個別に対応しています。</li> </ul>	


## 評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔生活〕


## 評価結果





- 離乳食については、保護者と担任保育士、調理担当職員が面談をして無理のないように進めています。食が細い子どもは、保護者と相談してあらかじめ盛り付ける量を減らして提供し、完食できるように配慮しています。0歳児の保育観察では、スプーンや手づかみで、嬉しそうに食べている様子が観察でき、子どもが自ら食べようとする意欲や行動を大切にしていることがうかがえました。食育については、年齢に応じて、ミカンの皮むきやおにぎり作りなどをおこなっています。食育でキノコピザを作ったときは、キノコが嫌いな子どもでも食べることができています。また、バイキング式で提供することもあり、子どもが食べたいものを自分で盛り付けています。お泊り保育のときは、みんなでサンドイッチを作っています。
- 食材は地産のものを使うようにしています。食器は割れにくい陶器製の物を使用し、年齢に応じて大きさを変えています。箸の長さも3、4、5歳児で長さを変えています。献立は法人で共通のものを作成しています。食欲がわくような工夫としては、絵本に関連した「物語メニュー」を取り入れています。例えば、「おおきなかぶ」から「どっこういしょおにぎり」、「桃太郎」からはきび団子を作っています。また、シシリアンライス（佐賀県）、サーターアンダギー（沖縄県）などの郷土料理もあり、子どもが楽しめる給食が提供されています。食事の場としての雰囲気作りとしては、仲の良い子ども同士で座ったり、お誕生日の子が真ん中に座れるようにしたり、その日によってテーブルの並べ方を変えたりしています。
- 調理職員は、各保育室で子どもの食事の様子を見たり、残食を記録して喫食状況を把握しています。昼礼のときに保育士から喫食状況を聞くこともあり、かぼちゃのスープが冷めてしまい、0、1歳児がなかなか食べようとしなかったという意見から盛り付けのタイミングを見直しています。また、系列園の調理職員が集まる会議のときに喫食状況等を報告し、残食が多い場合は他園での工夫を聞いて調理方法を工夫しています。
- 月末に翌月の献立表を保護者に配布し、玄関ホールに給食のサンプルを展示しています。玄関ホールには、給食のレシピカードも置いてあり、保護者が持ち帰れるようにしています。献立表のほか、給食よりも保護者に配布しています。給食よりも、「物語メニュー」の説明や誕生日ケーキの写真を載せています。ほかに、食中毒を防ぐポイントや「いただきます」と「ごちそうさま」の意味を載せるなどの調理や食事に関する情報提供をおこなっています。献立のサンプルを見た保護者から、食事について相談を受けることもあり、味付けなどについてアドバイスしています。夏まつりに給食のメニューを提供し、保護者が試食できるように配慮しています。希望者には、保育参観のときにも試食できるようにしています。
- 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要することはなく、静かに過ごすよう促しています。0歳児が、早く目が覚めてしまったときには、ほかの保育室等で過ごすなどの配慮をしています。午睡の前は子どもが落ち着けるよう、絵本の読み聞かせをおこない、心地よい眠りにつけるようオルゴールや静かな音楽を流しています。子どもの寝付くタイミングを把握し、個別に対応することもあります。乳幼児突然死症候群対策として、0歳児は10分おき、1歳児は15分おきに呼吸をチェックするほか、体に触れて体温も確認しています。
- 0、1歳児の排泄状況については、連絡帳で保護者に知らせ、必要な場合はお迎えのときに口頭でも伝えていきます。トイレトレーニングは、発達に応じて保護者と相談しながらおこなっています。その際は、保護者が過敏にならないよう声をかけたりして、ゆったり進めることができるよう配慮しています。


<b>評価分類Ⅱ－２</b> <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b> <b>【健康管理】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもたちの健康管理について、健康管理マニュアル、保育マニュアルがあり、全職員に配付され、マニュアルに基づき一人一人の健康状態が把握されています。</li> <li>• 入園時、健康カードへ既往症について保護者に記載してもらい把握しています。健康カードは年度ごとに保護者に書き足してもらい、職員会議などで共有されています。事務室に保管されていて、いつでも確認することができます。</li> <li>• 発熱や嘔吐、発疹、元気がないなどの症状があったときには、保護者に連絡し対応について相談しています。お迎えのときには、保護者に担任が日中の様子について口頭で説明しています。連絡ノートにも記載しています。</li> <li>• 食後には、歯磨きの指導をおこなっています。歯磨き後、保育士が口の中をチェックしています。虫歯予防デーなどで、詳しく指導をしています。</li> <li>• 健康診断・歯科健診・身体測定の結果については、それぞれ、健康診断票・歯科検診票・児童健康台帳に記録しています。また、所定の書式を用いて、保護者に伝えています。</li> <li>• 嘱託医や地域の歯科医とはいつでも相談できる関係を作り、連携を図っています。</li> <li>• 感染症対応マニュアルがあり、登園停止基準や保育中に感染症の疑いが生じた場合の対応について保育園のしおりに明記し、保護者に周知しています。保育中に発生した場合には、保護者へ速やかに連絡をし、対応について話し合っています。連絡の順番を事前に把握しています。お迎えが来るまで、保育園で様子を見ながら過ごしています。</li> <li>• 大和市の保育課からメールで情報提供を得ています。また、保健所からも情報を得ています。得た情報は職員会議などで職員に周知しています。感染症が発症した場合には、玄関や各クラスに掲示をするとともに園だよりで保護者に情報提供しています。</li> </ul>	


<b>評価分類Ⅱ－２</b> <b>健康管理・衛生管理・安全管理</b> <b>【衛生管理】</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衛生管理を適切におこなうため、衛生管理のマニュアルがあり、保育マニュアルや運営要項にも記載されています。マニュアルは、年度当初に法人本部で見直しをおこない、また、施設長会議でも定期的に見直しをおこなっています。</li> <li>• 毎年、全社研修で衛生管理に関する研修を実施しています。</li> <li>• マニュアルに沿って清掃がおこなわれています。チェックリストをもとに、清掃の実施について記録されており、園内外は清潔・適切な状態に保たれています。</li> </ul>	

<b>評価分類Ⅱ－2</b> <b>健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全管理について、危機管理マニュアルを策定し事故や災害に備えた安全対策を実施しています。マニュアルは地震や火災、事故などの非常時に適切に対応したものとなっていて、全職員に周知しています。毎月、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。散歩などの外出中の発災も想定しています。また、保育士は救命救急法の研修を受講しています。</li> <li>• 地震等を想定し、家具・備品等には転倒防止の安全対策が講じられています。高いところに物を置かないようにして、落下物の危険リスクがないようにしています。</li> <li>• 市役所、消防署、警察署などへの緊急連絡体制が確立しています。</li> <li>• 事故やケガの発生時および事後の対応について、関係機関や保護者、地域への連絡体制が確立しています。電話の近くにかかりつけ病院リスト、事故発生時対応フローチャートを掲示し、いつでも確認できるようにしています。</li> <li>• 子どものケガについては、病院の受診を必要とするとき、病院を受診するか迷うときには保護者にすぐに連絡し、対応について相談しています。軽度のケガについては、お迎えのときに担任が保護者に説明しています。子どものケガや事故は、職員会議で共有し、再発防止の検討をおこなっています。</li> <li>• 外部からの侵入に対する対応策については、保育園の入り口はオートロックにしてあり、来園者をモニターで確認して開錠しています。防犯カメラを設置し、事務室で確認しています。</li> <li>• 不審者等に対する緊急通報体制が確立されています。職員間で通じる合言葉を決めるなど、対策を講じています。また、大和市の保育課からメールで不審者などの情報提供を受けています。</li> </ul>	


<b>評価分類Ⅱ－3 人権の尊重</b>	<b>評価結果</b>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人で言葉をテーマにした研修をおこなっています。保育目標に、「子どもが自発的に活動できるような言葉かけをし、自らがお手本となるような行動をとる」を掲げており、ハンドブックにも、「子どもに寄り添った言葉かけをおこなう」等が記載されています。ハンドブックは職員で読み合わせをしており、全職員で子どもへの声のかけ方について、話し合う機会を持っています。子どもたちに、何をして遊びたいか聞いて意見がまとまらないようなときは、「できない」という言葉は使わないように配慮しています。</li> <li>• 幼児のトイレには扉があります。遊びのコーナーの隅など、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。</li> <li>• 個人情報の取り扱いについてのガイドラインがあり、プライバシーマークを取得しています。守秘義務については、入社時に研修をして職員に周知を凶っています。全職員から個人情報についての誓約書を提出してもらい、ボランティアと実習生にもオリエンテーションで守秘義務について説明し、誓約書を提出してもらっています。保護者には入園説明会で個人情報の取り扱いについて説明し、同意書を交わしています。個人情報に関する記録については、事務室の施錠できる棚に保管し、管理しています。</li> <li>• 遊びや行事の役割、発表会の役決めなどは、性差による区別はしていません。</li> </ul>	


評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入園時と進級時に、保育の方針等を明記した園のしおりを配布しています。入園説明会、進級説明会でも保育の方針、保育の目標を説明しています。行事のときに保護者にアンケートを取り、行事のねらい、今年度の方針などの理解が得られていないと思われるときは、個別に話をしたり、園内に保育の目標についての説明を掲示して、保護者に理解されるよう取り組んでいます。園だより、クラスだよりでもクラスの様子を知らせるとともに、保育の方針が理解されるように努めています。</li> <li>• 送迎時に子どもの様子を口頭で伝えています。担任保育士から伝えることができない場合は、伝達ノートに記載して伝え漏れのないように工夫しています。担任保育士が直接伝えたいほうが良いと思われるときは、お迎えの時間まで担任保育士が残るようにしています。また、連絡ノートでも子どもの様子を知らせています。個別面談は年2回おこなっています。個別面談の前に、保育に関して悩んでいることや聞きたいこと等を保護者に書いてもらい、担任保育士が返答を記入し、施設長が確認しています。クラス全体の様子を伝える懇談会は進級時におこない、持ち物のことや新年度の保育のことなども知らせています。</li> <li>• 保護者から相談を受けるときは、事務室で個別に受けています。相談内容によっては、日中に時間を作ってもらいゆっくり話ができるように配慮しています。担任保育士が相談を受けたときは、施設長、副施設長に報告し、助言を受けています。</li> <li>• 毎月、園だより、クラスだよりを発行しています。その日の保育の様子は、担任が手書きで書いたものをクラスの入り口に掲示しています。パレット学習タイムや行事のときには、写真を掲示して保護者に知らせています。乳児クラスでは、日常の保育の様子をビデオに録り、懇談会で上映しています。</li> <li>• 進級説明会のときに年間の行事予定を知らせて、保護者が予定を立てやすくしています。保育参観は、通常の保育とパレット学習タイムの年2回おこない、それぞれ複数日を保育参観日としています。保育参観、懇談会に参加する家族は多く、毎回全員が参加しています。</li> <li>• 卒園を控えた子どもの保護者の集まりに、場所を提供しています。保護者代表が運営委員として出席する運営委員会で意見交換をおこなっています。</li> </ul>	


	評価結果
<p><b>評価分類Ⅲ－1</b> <b>地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の子育てニーズについては、見学の方から相談を受けるなどで把握しています。大和市の認可保育園園長会に参加して、地域の子育てニーズについて意見交換をおこなっています。大和市が主催する子育て応援フェスタに参加して、育児についての相談を受けたり、手作りおもちゃの説明をしています。</li> <li>• 夏まつりに地域の親子が参加できるようポスターを掲示しています。参加した親子とゲームをしたり、ペープサートを見たりするなど交流しています。今後は、施設開放などをおこない、さらに地域の親子と交流する機会を持つことが期待されます。</li> <li>• 園は商店街にあり、地域住民から何かあれば相談してくださいと声をかけられています。地域との関係作りができていくことがうかがえますが、保育の専門性を活かし、手遊びの講習会をしたり離乳食の作り方を教えたりするなど、情報発信の取組が期待されます。</li> </ul>	

	評価結果
<p><b>評価分類Ⅲ－2</b> <b>保育所の専門性を活かした相談機能</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 育児相談については、毎週水曜日に実施していることを、門扉に掲示して知らせています。給食だよりや園だよりを掲示して情報提供しています。</li> <li>• 関係機関の連絡先などはリスト化して事務室に掲示しています。大和市役所に空き情報を提供し、市役所のホームページに掲載されています。入園直後に欠席が多いなど、気になることがある場合は大和市役所の担当者に連絡をして対応方法等の助言を受けています。また、大和市の巡回指導の際に助言を受けることもあります。</li> </ul>	

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>夏まつりなど行事開催の際は、門扉にポスターを掲示して地域住民に知らせています。自治会からテントを借りたり、七夕のときに笹を寄付してもらったり、友好的な関係が築かれていますが、お勧めの絵本を紹介するなど、さらなる取組が期待されます。</li><li>園の近くには商店街や商業施設があります。商業施設の中には、図書館と神社が併設されており、散歩の帰りに立ち寄ることがあります。お正月には、その神社でお参りをしています。また、スイカ割りのスイカ等を、子どもたちと商店街に買いに行っています。</li></ul>	

評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>法人のホームページにパレット学習タイム、体操教室などの保育活動や延長時間の料金などを載せて情報提供しています。見学に来られた方には、見学者用の「パレット保育園ご案内」を渡して保育理念や保育方針等を知らせています。</li><li>問い合わせや見学者には、「パレット保育園ご案内」に基づいて、保育の方針や活動内容、持ち物などを説明しています。問い合わせは随時対応できるようにしており、その際は見学ができることを知らせています。見学日については、保育に支障をきたさない範囲で、できる限り希望に添うようにしています。ホームページからも見学の申し込みをすることができます。</li></ul>	

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"><li>ボランティア受け入れのマニュアルがあり、マニュアルに基づいて保育の方針、保育の目標、守秘義務等を説明しています。受け入れにあたり職員には昼礼で説明し、保護者には玄関に掲示して知らせています。受け入れと育成の担当者は施設長としており、受け入れ時に記録を残しています。小学校教諭の職場体験を受け入れ、体験後に感想をもらっています。</li><li>実習生受け入れのマニュアルがあり、マニュアルに基づいて保育の方針、保育の目標、守秘義務等を説明しています。受け入れにあたり職員には昼礼で説明し、保護者には玄関に掲示して知らせています。受け入れと育成の担当者は施設長としており、受け入れ時に記録を残しています。実習のプログラムは、実習生の意向を聞いて早番と遅番を体験できるようにしています。実習日は担任保育士と意見交換をし、実習最終日に施設長と意見交換をしています。</li></ul>	


## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上


評価分類V-1 職員の人材育成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>法人本部の人材育成計画に基づき、職員の育成をおこなっています。「スタッフできたかな表」を用いて、各職種や段階にあわせた職能水準を定めて、職員の育成に役立てています。</li> <li>職員の資質向上に向け、「スタッフできたかな表」を用いて個別の目標を毎年定め、研修の希望などを確認しています。年2回おこなう施設長との面談を通して、本人の自己評価を確認するとともに、施設長が達成度を評価しています。</li> <li>園内研修は年9回おこなう全体会議の中で実施しています。今年度は、保護者とのコミュニケーションに関する園内研修などをおこないました。研修は、常勤・非常勤問わずに参加できることになっています。</li> <li>園外の研修として、法人本部でおこなう全園研修会に職員全員が参加しています。特に、救急救命法を学ぶ研修には全職員が参加しています。 新任保育士の研修プログラムが充実していて、入職前に2回、入職後には7月と12月に保育を振り返る研修を法人本部でおこなっています。</li> <li>非常勤職員にも、年度ごとに作成する「ハンドブック」を渡しています。給食に携わる非常勤職員には、給食に関するマニュアルも渡しています。</li> </ul>	


評価分類V-2 職員の技術の向上	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回、「スタッフできたかな表」に基づく職員自己評価をおこなっています。個人目標や自己評価をもとに、施設長と面談をして、技術の向上について話し合っています。</li> <li>月間指導計画や週案、日誌などの書式に、評価や反省の欄を設け、定型化しています。各計画の評価を記入する書式に計画・ねらいを明示していて、計画やねらいに関連付けて評価をできるようにしています。</li> <li>各計画に対する評価は、全体会議や幼児会議、乳児会議、クラス会議で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。現在は、より良い保育環境の設定について、力を入れて取り組んでいます。</li> <li>園としての自己評価は、横浜市福祉サービス第三者評価の評価項目を用いておこなっています。評価結果は、ホームページ上に公表しています。</li> </ul>	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>「スタッフできたかな表」に、役職や経験、職種に応じた役割と期待水準が明文化されています。</li> <li>利用者の状況に応じて、現場の職員が自主的に判断できるように、「ハンドブック」に、職員の権限や判断基準を明確化しています。職員からは、「クラスのことはある程度任されているため、自分が実施してみたいことを検討できます」という意見が出ています。</li> <li>職員からの業務改善提案は、クラス会議をはじめとして、乳児会議や幼児会議、全体会議で話し合われています。</li> <li>年2回の施設長面談で、職員の満足度や要望を把握しています。法人本部では、「勤務についてのアンケート」をおこない、次年度の体制に向けて、職員の要望を把握しています。</li> </ul>	



評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年度ごとに法人で作成される「ハンドブック」に、保育士倫理綱領や規程集、行動原則などを掲載して、全職員に配付・周知しています。</li> <li>• 園のホームページを通して、前回の第三者評価結果を見ることができるようになっています。また、法人のホームページで、経営状況について公開しています。</li> <li>• 法人本部の施設長会議などで出た系列園の事例を題材に、職員間で話し合っています。散歩時の人数確認に関する事例に対応して、園外保育マニュアルを作成しました。プール事故の事例では監視する職員を配置するなど、予防策を講じています。</li> <li>• 再生紙を折り紙として使用したり、空き箱やペットボトル、ラップの芯などの廃材を教材として使用したりして、ゴミの減量化やリサイクルに取り組んでいます。</li> </ul>	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人の保育理念や法人の保育方針、園の保育目標を事務室内に掲示しています。園の保育目標は、職員用のトイレにも掲示し、職員が保育目標を意識できるようにしています。</li> <li>• 法人本部がおこなう全園研修会では、クイズ形式で理念や方針を理解しているか確認する取組をおこなっています。今年度は、「感性・知性・体力」に関するクイズを園対抗で実施しました。理念や方針について職員全員で考え、足りないところに気づくことができたと、施設長は分析しています。</li> <li>• 重要な決定事項については、保護者との懇談会や進級説明会、運営委員会で必ず説明をしています。次年度から閉園時間が変更するにあたり、その理由などを伝えて意見交換をしています。</li> <li>• 副施設長は、フリー職員として、常に保育現場に入っています。個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、一人一人に対して、1日1回は声をかけられるように配慮しています。</li> </ul>	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人本部の施設長会議などから得た重要な情報は、重点課題として全体会議で職員に伝え、園全体の取組としています。次年度からおこなう書類の電子化に向け、タブレットを用いた記録の作成やアプリを通しておこなう保護者への情報提供などについて法人本部からレクチャーを受けています。</li> <li>• 法人本部で、2016年から4年間の中期事業計画を作成しています。中期事業計画における事業改善テーマを5つ設定し、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討しています。</li> <li>• 法人本部が契約する弁護士、社会保険労務士などから運営に関する助言を受けています。別法人の保育園の園長から意見をもらう機会もあります。</li> </ul>	

## ◆利用者家族アンケート分析◆

### 【実施概要】

- 実施期間：平成28年11月14日～11月28日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。
- 回収率：配付59件、回収39件、回収率66.1%

### 【結果の特徴】

●園の保育目標や保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は71.8%でした。「よく知っている」が15.4%、「まあ知っている」が56.4%となっています

- ・園の保育目標や保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者のうち、96.5%の保護者が「賛同できる」、「まあ賛同できる」と回答しています。

●項目の中で満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたもの）が100%の項目は、「入園時の面接などで、子どもの様子や生育歴などを聞く機会」「クラスの活動や遊び」でした。

- ・次いで、「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」、「給食の献立内容」、「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」の満足度は97.4%となりました。
- ・「年間の保育や行事についての説明」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「外遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持てているか」「子どもが給食を楽しんでいるか」「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」「園だよりや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供」の満足度は94.9%でした。

●項目の中で不満足度（「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせたもの）が高い項目は、「外部から不審者侵入を防ぐ対策」が17.9%でした。

●園の総合満足度は「満足」が59.0%、「どちらかといえば満足」が35.9%、合わせて94.9%と、「満足」の比率が高くなっています。

●自由意見欄には、感謝の言葉や、要望が出ています。

- ・園に対する肯定的な意見としては、「感謝しています。ありがとうございます」「子どもから、毎日話しを聞くのが楽しみです」「満足しているので、維持してほしいです」「職員が熱心です」「いろいろな所へ散歩や遊びに出かけています」「パレット学習タイムはとても良いです」などが出ています。
- ・園に対する要望・意見としては、「オートロックですが閉まっていない時もあるので意識を高めてほしいです」「英語を取り入れてほしいです」「電車の遅延によりお迎えが遅くなる時などメール等で連絡できると助かります」などが出ています。

## パレット保育園大和 利用者家族アンケート集計結果

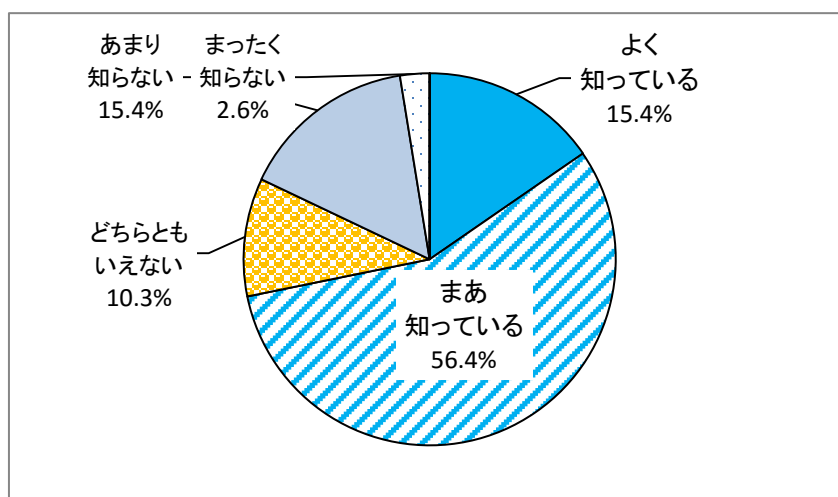
実施期間	平成28年11月14日～11月28日
調査対象	利用者家族
配布世帯数	59件
有効回答数	39件
回収率	66.1%

お子さんのクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	(人)
	6	4	5	9	7	8	0	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

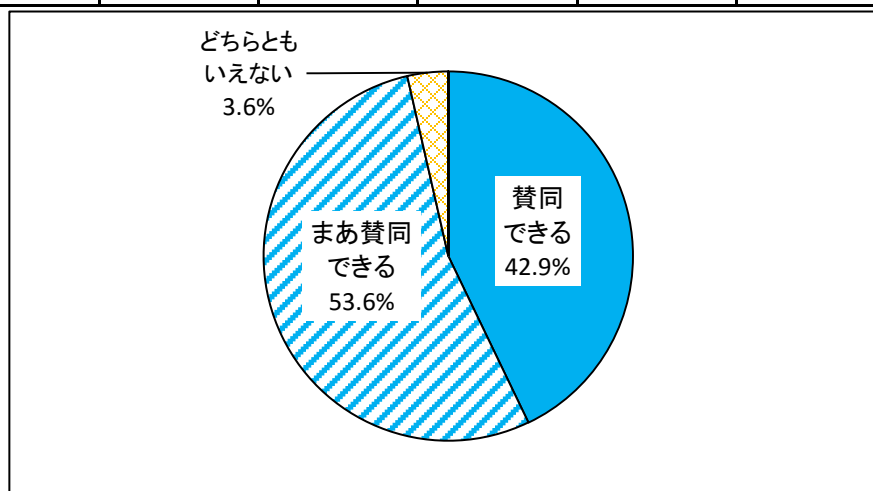
### 問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	15.4	56.4	10.3	15.4	2.6	0.0	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	42.9	53.6	3.6	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	53.8	30.7	0.0	0.0	15.4	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	56.4	33.3	2.6	0.0	5.1	2.6	
園の目標や方針についての説明には	41.0	43.6	5.1	0.0	5.1	5.1	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	51.3	41.0	5.1	0.0	0.0	2.6	
費用やきまりに関する説明については	51.3	33.3	10.3	2.6	0.0	2.6	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	48.7	46.2	5.1	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	41.0	46.2	7.7	2.6	2.6	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	64.1	35.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	69.2	25.6	5.1	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	53.8	38.5	2.6	2.6	2.6	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	69.2	28.2	2.6	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	61.5	33.3	2.6	0.0	0.0	2.6	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	48.7	41.0	5.1	0.0	2.6	2.6	

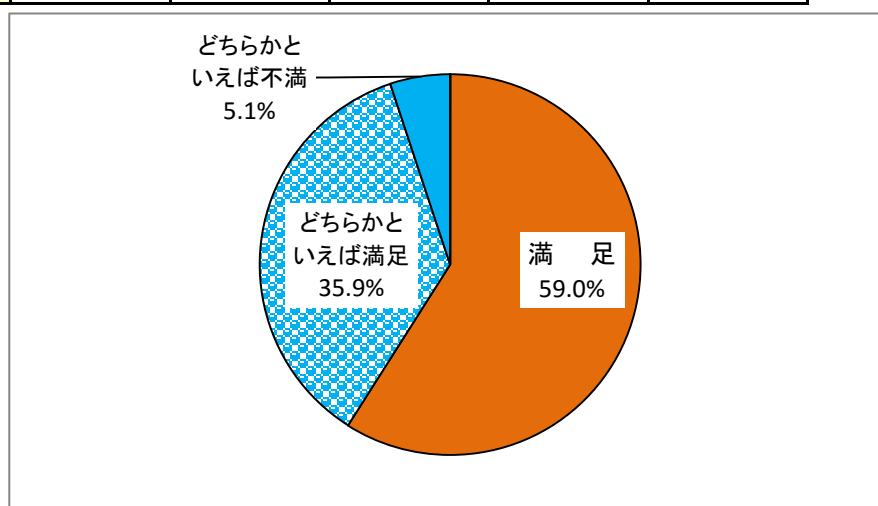
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	79.5	17.9	2.6	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	74.4	20.5	0.0	0.0	5.1	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	69.2	23.1	2.6	5.1	0.0	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61.5	20.5	10.3	2.6	5.1	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	64.1	25.6	2.6	2.6	2.6	2.6	
お子さんの体調への気配りについては	64.1	28.2	2.6	2.6	0.0	2.6	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	64.1	20.5	7.7	0.0	5.1	2.6	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	35.9	46.2	7.7	5.1	5.1	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	48.7	46.2	5.1	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	38.5	41.0	12.8	5.1	2.6	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	61.5	33.3	2.6	0.0	2.6	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	53.8	38.5	5.1	2.6	0.0	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	69.3	25.6	2.6	2.6	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	61.5	30.8	5.1	0.0	2.6	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	51.3	35.9	7.7	2.6	2.6	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	56.4	38.5	5.1	0.0	0.0	0.0	
保護者からの相談事への対応には	59.0	28.2	5.1	2.6	5.1	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	71.8	17.9	5.1	2.6	2.6	0.0	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	61.5	25.6	10.3	2.6	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	74.4	23.1	2.6	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51.2	25.6	0.0	0.0	20.5	2.5	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	59.0	30.8	5.1	5.1	0.0	0.0	
意見や要望への対応については	46.2	43.6	0.0	2.6	5.1	2.6	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	59.0	35.9	5.1	0.0	0.0	



# ◆利用者本人調査◆

## 【実施概要】

■実施日時：平成29年2月6日、2月14日

■実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

## ●0歳児クラス

0歳児の保育室は、遊び・お昼寝のスペースと食事をするスペースを、サークルで区切っています。保育士の声かけでおもちゃを片付け始めます。数名の子どもは、保育士と一緒におもちゃをケースに入れて片づけています。片付けが終わると朝の会をします。保育士がオルガンを弾き、ほかの保育士が歌い始めると、最初は聴いているだけだった子どもたちが、音楽に合わせてタヌキがお腹を叩く真似をしています。次の歌のときには、手をひろげたりむすんだりして、歌に合わせてリズムをとっています。

今日は公園に散歩に行きます。公園までの道を保育士と手をつないで歩く子どもと、お散歩カートにつかまって歩く子どもがいます。公園の砂場で遊んだあと、保育士の声かけで電車に見える遊歩道まで行きます。遊歩道の円形のベンチに後ろ向きに座って、下を通る電車を待ちます。なかなか電車は来ませんでした、ぐずったり泣いたりする子はいません。電車が通り、保育士の声かけで一人ずつベンチから降ります。ベンチから遊歩道まで数段の階段があり、子どもたちは後ろ向きで上手に、慎重に階段を降ります。園までの帰り道も、保育士と手をつないだりお散歩カートにつかまったりして、がんばって歩いていました。

## ●1歳児クラス

登園後、子どもたちはそれぞれ好きな遊びのコーナーで遊んでいます。ブロックで遊んでいた子どもは、ブロックをつなげて「急行だよ」と言って電車のように走らせています。自由遊びが終わり、おやつを食べたあとは、エプロンを自分ではずして、タオルで口や手を上手に拭いています。使ったタオルはエプロンに包んで保育士に渡します。子どもたちは、保育士に促されなくても自分たちでやっています。

朝の会でも子どもたちは座る場所を分かっているようで、動物のイラストが貼ってあるところにきちんと座って待つことができます。今日は玄関ホールで遊びます。緩衝マットで傾斜を作り、子どもたちは登ったり降りたりして遊びます。しばらく遊んだあと、保育士がマットの角度を変えるとトンネルができました。子どもたちはトンネルをくぐり、楽しそうに遊んでいます。ほかのクラスの子もが、玄関を通っても遊びに夢中になっています。体を使って思いっきり遊んだあとは、パレット学習タイムの時間です。

## ●2歳児クラス

テーブルを二つ並べて、木製のあいうえおブロックでカルタ遊びをします。保育士がルールや注意することを説明し、「いっぱいとっても、ちょっととっても、楽しくするのが大切です」と、子どもたちに話しています。カルタを読み上げる前に、「手は頭」「手はおしり」「手はおさるさん」など、その都度手を置く場所を変えています。最後のカルタを取った子どもは、「やった！」と大喜びしていました。カルタ遊びの1位、2位を決めて終了しました。カルタ取りのあとは、玄関ホールで三輪車、プラスチックカーで遊びます。一人ずつ三輪車やプラスチックカーを選び、遊び始めました。子どもたちはぶつかるようなことはなく、上手に三輪車やプラスチックカーをこいでいます。カルタ遊びで2位になった子どもが、遊びに加わらず階段のところにいました。保育士はしばらく見守っていましたが、遊びが佳境になったときに「遊びたくなったら来てね」と声をかけています。三輪車に乗りたくても、台数が足りずにプラスチックカーに乗っていた子どもには「貸して」と自分で言うように促しています。

### ●3歳児クラス

朝の会が終わり、散歩の準備をします。帽子を被り、上着を着ますが、ジャンパーのファスナーが閉められない子には、ほかの子どもが手伝っています。準備が終わった子どもは階段を降り、エントランスで待っています。みんなが揃ったところで、玄関に置いてある花に水やりをしてから散歩に出かけます。友達と手をつなぎ、公園まで行きます。途中で車が通るときは、立ち止まり車が通り過ぎるのを待っています。歩きながらふざける子どもはいませんが、パトカーが通ったときは、「警察官かっこいいね」などを話しています。散歩から帰ると、保育士に促されなくても自分たちで手洗いとうがいをしています。

保育士が給食を配膳しているときも、静かに待つことができます。食べ終わった子は自分で食器をワゴンに持っていき、片付けをしています。午睡までの時間は、絵本を読んでいます。子ども同士で絵本の読み聞かせをしている子どももいます。

### ●4歳児クラス

今日は3歳児クラスと一緒に散歩に行きます。靴下を履いて帽子を被り、上着を着て水筒を持っていきます。4歳児は手早く準備ができて、門のところに並んで3歳児を待っています。保育士が「待っている間、歩く練習しよう」と子どもに声をかけます。みんなで歩いていると、先頭を歩いていた保育士が「ゆっくり」と言うと、みんな足をゆっくり挙げて、ゆっくり下ろして歩きます。「ロボットで」と言うと、ロボットみたいにカクカクしながら歩き、子どもたちは楽しそうに真似をしています。全員揃ったところで、散歩に出発します。駅前を通るときに、地域の方が手を振って挨拶してくれると、子どもたちも手を振って挨拶しています。歩いている途中で靴が脱げてしまった子どもが、「靴が脱げました」と言うと、みんなが立ち止まり、靴が履けるのを待っています。公園には、ブランコ、砂場、うんていがあります。公園の中を元気に走ったり、うんていに何度も挑戦したりしている子どもがいました。

### ●5歳児クラス

保育士が「さあ、お片付けしましょう」と声をかけると、子どもたちが一斉に片づけ始めます。重い物は、2人で力を合わせて運びます。片づけているときに、おもちゃを落としてしまい床に散らばると子どもたちみんなですくいます。

今日は2歳児クラスと散歩に行きます。道路では、2歳児が危なくないように、5歳児が車道側を歩いています。途中で、日向ぼっこをしている地域の方に声をかけられると挨拶をしたり、ハイタッチをしたりしています。公園が近くなる頃には会話も弾み、お互いの名前を反対から読んで楽しそうに歩いています。

公園ではローラーすべり台が人気なようで、子どもたちが集まっています。お花を見つけると、保育士がお花の側に行って子どもたちに説明しています。セミの抜け殻を見つけたときは、保育士に取ってもらい、みんなで観察しています。「木登りしよう」と子どもが言うと、保育士と子どもたちで木登りができそうな木を探しています。木に登った子どもが「降りられない」と言うと、「足を下ろしてごらん」と保育士が助言しています。その後も探検ごっこをしたり、枯葉を動かして何かを探したりして遊び、ミミズを見つけたときには子どもたちが集まってきました。

## ◆ 事業者コメント ◆

パレット保育園・大和は、「大きな家族」、「感性・知性・体力を培う三位一体のバランス保育」、「自立と自尊と自律」の保育理念を掲げています。

子ども達は日々の生活を通して「思いやり」を育み、「生きる力」をつけています。

今回の第三者評価を受け、職員全員で保育を振り返り、反省し、自園について見直すことが出来ました。高評を頂いた点はより充実させ、工夫・改善点のアドバイスを頂いた点は真摯に受け止め、今後の課題として会議にて検討し、職員全体で共通意識を持って取り組んでいきたいと思ひます。

園のサービス内容について保護者の方々のご意見も伺うことが出来、職員一同で考える良い機会となりました。また、園に対してご理解とご信頼を頂いていることも知ることが出来、大変感謝致しております。

今回の評価を最大限に活かし、大和目标の「自分の気持ちをのびのび表現し、友だちに優しくできる子」に育つようチームで保育を実践する為には職員の「環境を設定する力」、「子どもとかかわる力」をチームで高め合い、質の高い保育を実践し一人ひとりの子どもたちが心から輝き、一人ひとりの保育者が心から輝く園になるよう努力し向上していきたいと思ひます。

パレット保育園 大和



---

## 福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : [www.yresearch-center.jp/](http://www.yresearch-center.jp/) Email : [top@yresearch-center.jp](mailto:top@yresearch-center.jp)



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02

---